

2017年3月期第2四半期 連結決算説明資料

< 2016年11月11日 >

株式会社 西島製作所

証券コード : 6363

HPアドレス : www.torishima.co.jp

2017年3月期第2四半期決算のポイント

売上・利益 → 連結では、おおむね計画通り。

単体：順調。売上総利益率11.9%→17.9%にUP。

海外子会社：減収減益

通期予想 → 連結では変更なし。

(売上・利益)

(単体：上方修正、海外子会社：下方修正)

受注状況 → 国内官需及び民需は好調なもの、

急激な円高と世界経済の低迷から外需は伸び悩み、
連結では、通期受注予想を見直し。

		計画比	前年同期比
● 受注高	215億円	(—)	(▲30.6%)
● 売上高	172億円	(+7.6%)	(▲3.1%)
● 営業利益	▲2億円	(+3億円)	(+5億円)
● 経常利益	▲6億円	(+1億円)	(+3億円)
● 当期利益*	▲5億円	(±0億円)	(▲1億円)

※親会社株主に帰属する純利益

●連結

単位：億円

	2016年3月期 上期実績	2017年3月期 上期実績	増減
受注高	311	215	▲96
売上高	178	172	▲6
売上総利益 (売上総利益率)	36 (20.2%)	40 (23.1%)	+4 (+2.9%)
販売管理費	▲43	▲42	+1
営業利益 (営業利益率)	▲7 (▲3.7%)	▲2 (▲1.3%)	+5 (+2.4%)
営業外損益	▲2	▲4	▲2
経常利益	▲9	▲6	+3
特別損益	1	1	±0
親会社株主に帰属する 当期利益	▲4	▲5	▲1

2017年3月期 上期計画	計画比
—	—
160	+12
—	—
—	—
▲5 (▲3.1%)	+3 (+1.8%)
—	—
▲7	+1
—	—
▲5	±0

平均為替レート（\$）	121.8円	105.3円
-------------	--------	--------

● 単体

単位：億円

	2016年3月期 上期実績	2017年3月期 上期実績	増減
売上高	132	143	+11
売上総利益 (売上総利益率)	16 (11.9%)	26 (17.9%)	+10 (+6.0%)
販売管理費	▲30	▲31	▲1
営業利益 (営業利益率)	▲14 (▲10.7%)	▲5 (▲3.4%)	+9 (+7.3%)

● 子会社

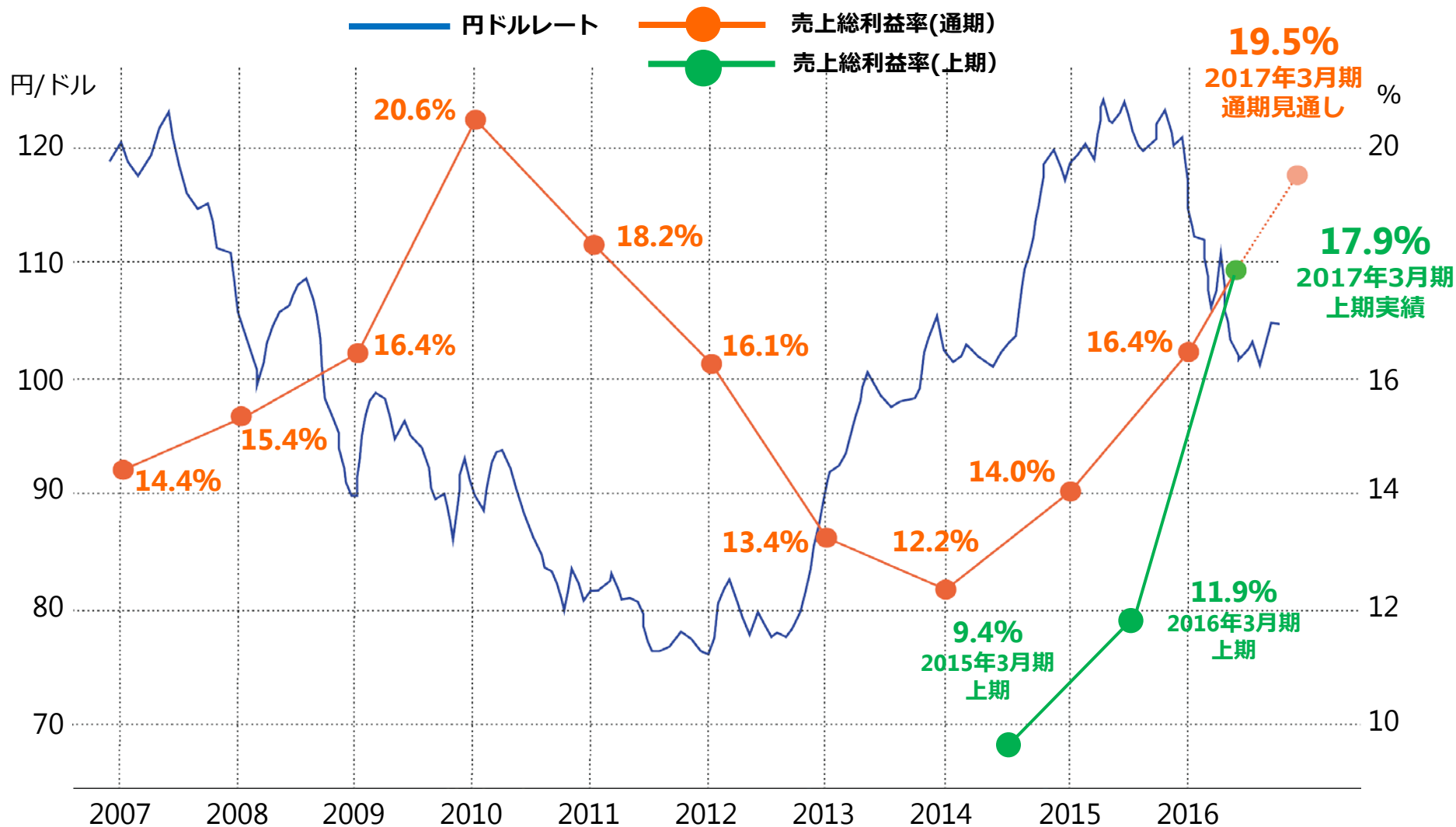
単位：億円

	2016年3月期 上期実績	2017年3月期 上期実績	増減
	46	29	▲17
	20 (44.0%)	14 (48.7%)	▲6 (+4.7%)
	▲13	▲11	+2
	7 (16.5%)	3 (9.4%)	▲4 (▲7.1%)

注) 子会社の数値 (③) は、連結決算数値 (①) から単体決算数値 (②) を差し引いて算出しています。

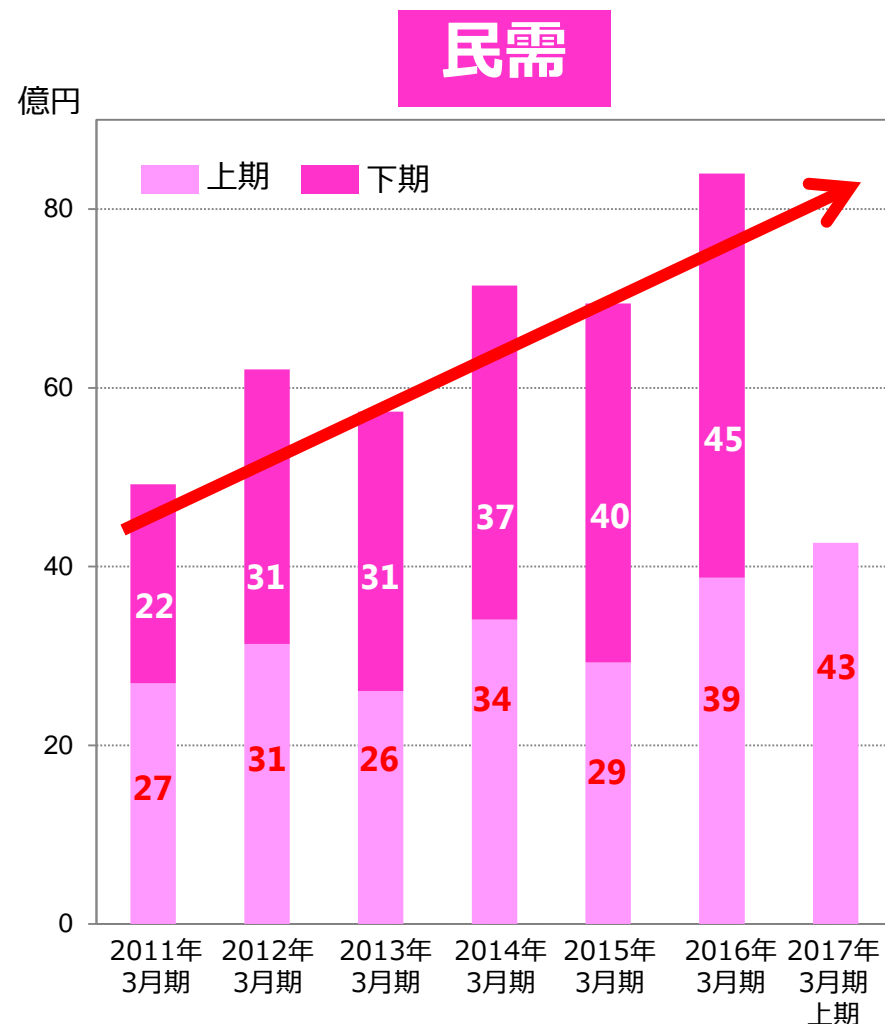
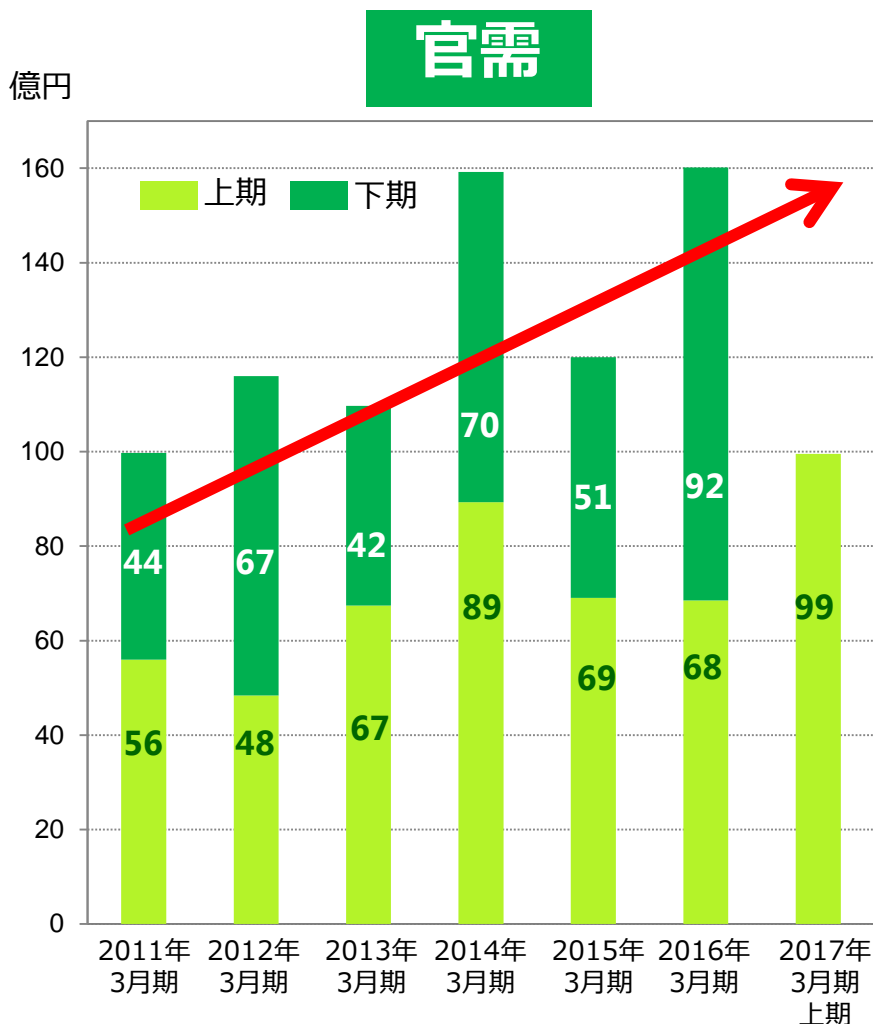
単体売上総利益率の改善

- ・受注から売上が1～1年半かかるため、為替の影響も遅れて顕在化。
- ・単体の売上総利益率は、順調に回復。



内需（官需・民需）の受注高推移（連結）

官需、民需とも、上期では、過去7年間で最高値を達成。
海外受注の厳しさを、好調な国内官需と民需でカバー

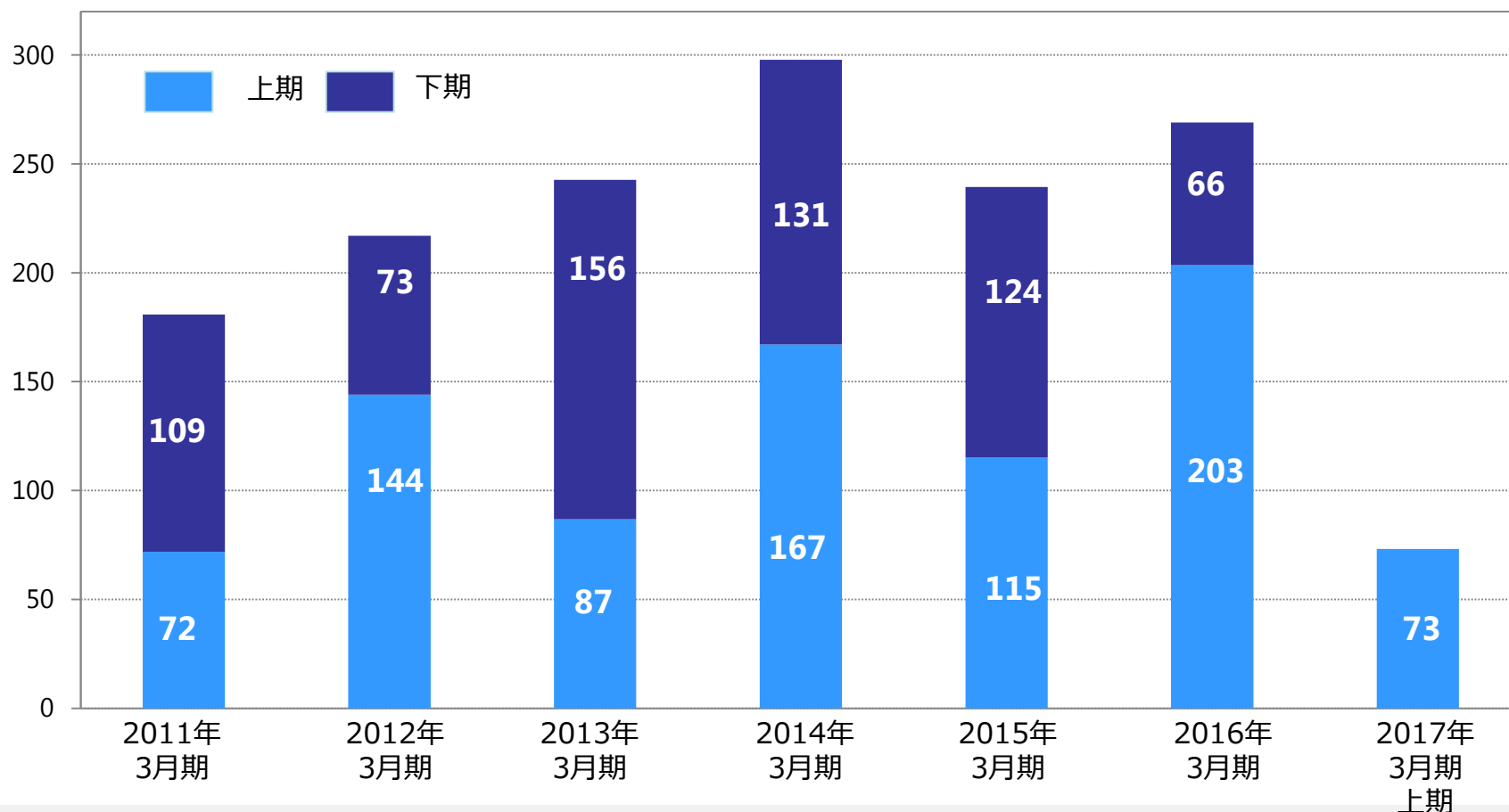


外需の受注高推移（連結）

新興国経済の減速や原油価格下落に伴う産油国の財政難などにより、海外での受注は厳しく、競争環境も激化してきている。

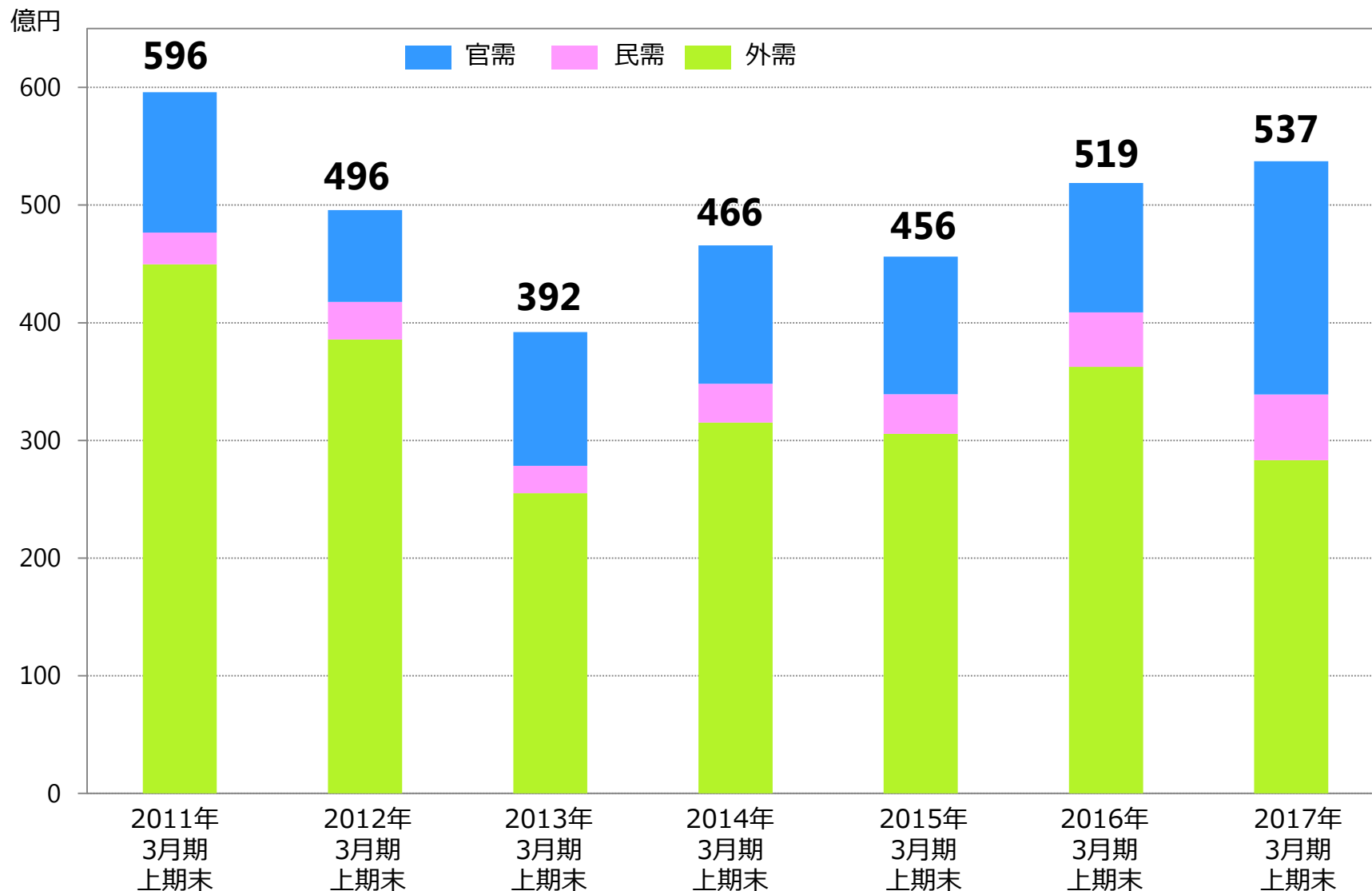
外需

億円



上期末の受注残高推移（連結）

受注残高は十分にあるので、今期の売上達成は見込める予定



2017年3月期通期業績見通し（連結）



連結決算では、売上・利益は変更なし。単体と子会社の内訳を見直し（次頁）。

連結ベース

単位：億円

	2016年3月期 通期実績	2017年3月期	
		上期実績	通期見通し
受注高	513	215	500 当初計画
			400 *修正計画
売上高	405	172	450
売上総利益 (売上総利益率)	92 (22.7%)	40 (23.1%)	108 (24.0%)
販管費	▲88	▲42	▲88
営業利益 (営業利益率)	4 (0.9%)	▲2 (▲1.3%)	20 (4.4%)
営業外損益	▲21	▲4	▲3
経常利益	▲17	▲6	17
特別損益	3	1	0
当期利益	▲24	▲5	15
平均為替レート（\$）	120.1円	105.3円	

※受注以外は、2016年5月11日公表計画から変更なし。

2017年3月期通期業績見通し（単体・子会社別）

単体は上方修正、子会社は下方修正。

●単体

単位：億円

	2016年 3月期 通期実績	2017年3月期		
		上期実績	当初計画*	通期見通し (修正計画)
売上高	313	143	350	380
売上総利益 (売上総利益率)	51 (16.4%)	26 (17.9%)	67 (19.1%)	74 (19.5%)
販売 管理費	▲62	▲31	▲62	▲62
営業利益 (営業利益率)	▲11 (▲3.4%)	▲5 (▲3.4%)	5 (1.4%)	12 (3.2%)

●子会社

単位：億円

	2016年 3月期 通期実績	2017年3月期		
		上期実績	当初計画*	通期見通し (修正計画)
売上高	92	29	100	70
売上総利益 (売上総利益率)	41 (44.3%)	14 (48.7%)	41 (41.0%)	34 (48.6%)
販売 管理費	▲26	▲11	▲26	▲26
営業利益 (営業利益率)	15 (15.8%)	3 (9.4%)	15 (15.0%)	8 (11.4%)

※ 2016年5月11日公表計画

● **官需**

– 先端技術による安全・安心の提供

● **民需**

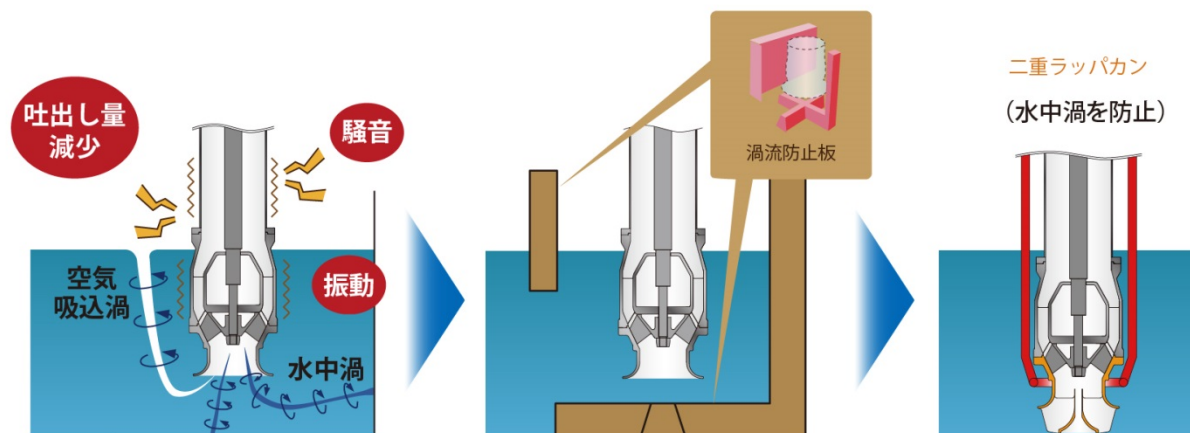
– 国内火力発電の新規建設計画

● **サービス**

– 火力発電向けボイラ給水ポンプへの注力
– サービス拠点の充実

特許

- ☑ ポンプ吸込み水槽への土木工事費が不要
- ☑ 施工期間が短縮、施工費が安価
- ☑ 施工の安全性が高い

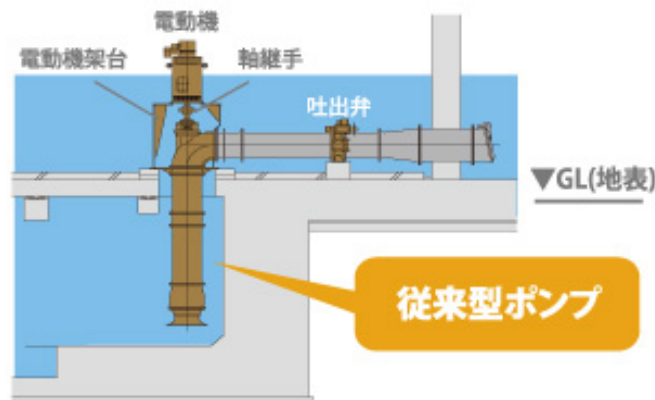


高い性能と信頼性が評価され、
全国各地から受注。

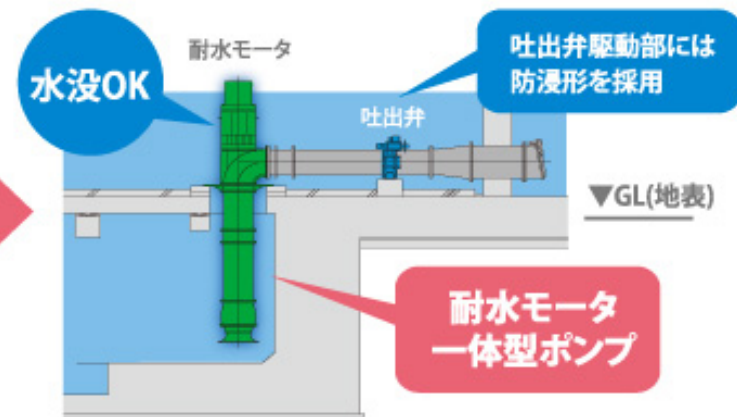
特許

- ✓ ポンプ場が浸水しても、ポンプ稼働が可能
- ✓ 高耐震性
- ✓ 据付費用が多床式に比べ安価

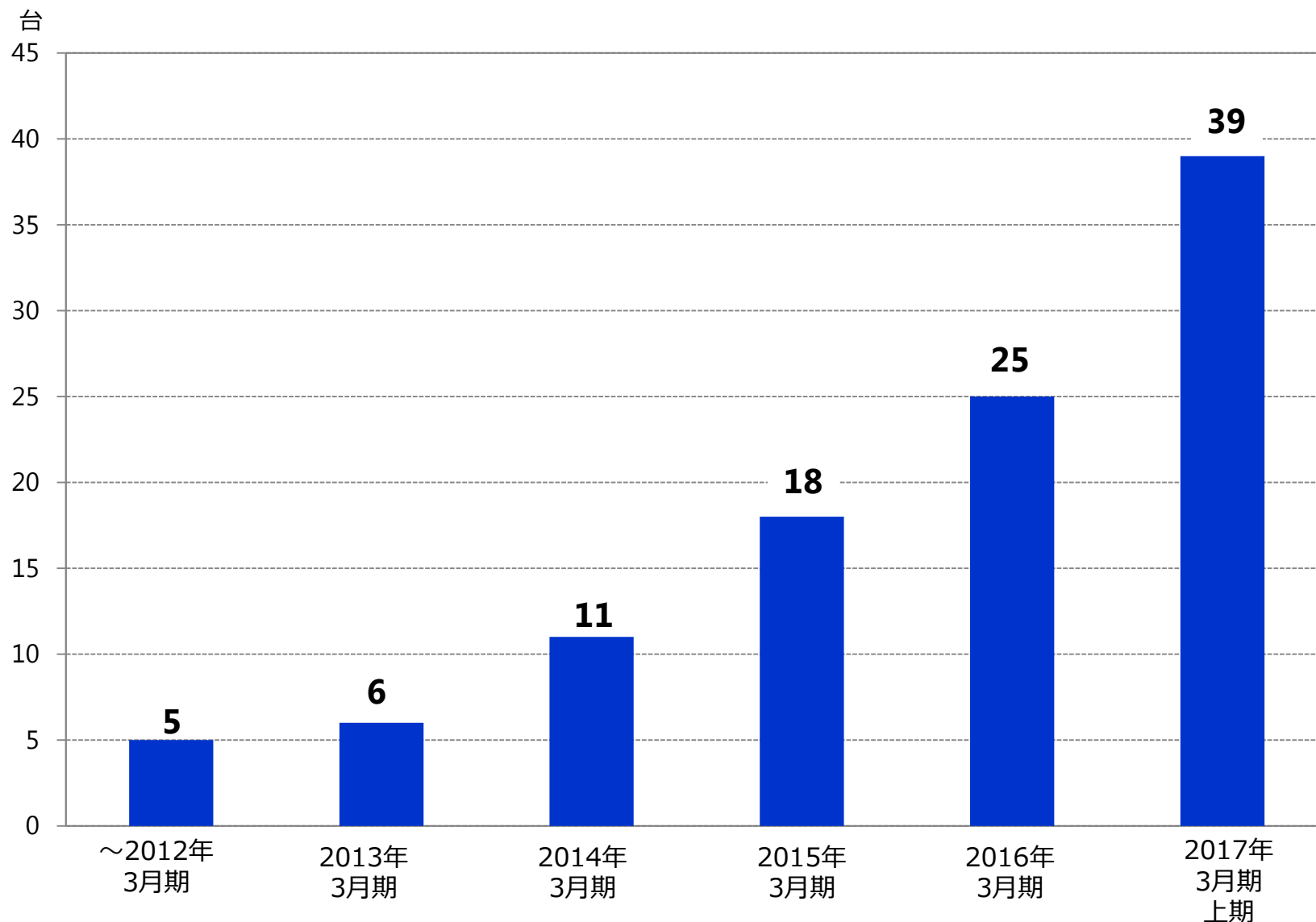
従来型のポンプ場



耐水モーター一体型のポンプ場



二重ラッパカン&渦対策リング及び 耐水モーター体型ポンプ受注累計台数



ENGINEERING NOW

国内で40基以上の火力発電投資計画が浮上

電力の需給バランスを確保し、安定供給を確保するための投資計画が浮上している。中でも、再生可能エネルギーの導入が期待されている。また、火力発電の効率化や省エネ対策も進んでいる。このように、火力発電の投資計画は、今後も増加傾向にあると見られる。

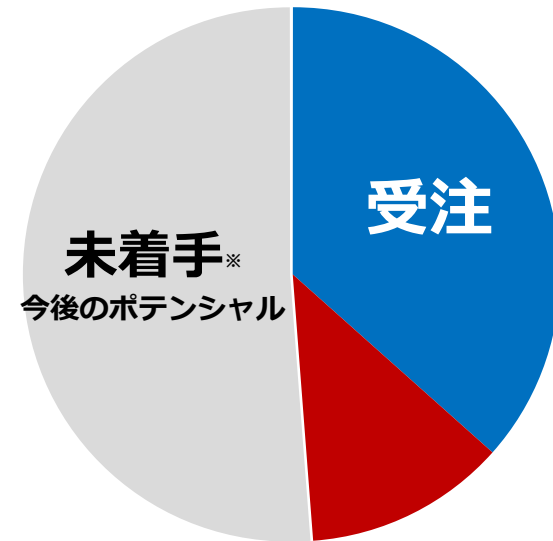
項目	内容
北海道	GTCC
宮城県	バイオマス混焼
宮城県	石炭火力
福島県	IGCC
福島県	バイオマス混焼
栃木県	GTCC
神奈川県	GTCC
茨城県	USC
福島県	IGCC
福島県	GTCC
静岡県	バイオマス混焼
福岡県	バイオマス混焼
福岡県	バイオマス混焼
長崎県	USC
山口県	USC

国内で40基以上(100MW以上)の火力発電投資計画が進行中

出典：エンジニアリング・ネットワーク Vo | 353(2015年4月10日発行)

2016年11月末現在、約半分のプロジェクトが進行し、**7割以上**を着実に**受注**。
(プロジェクト案件数ベース)

進捗状況イメージ



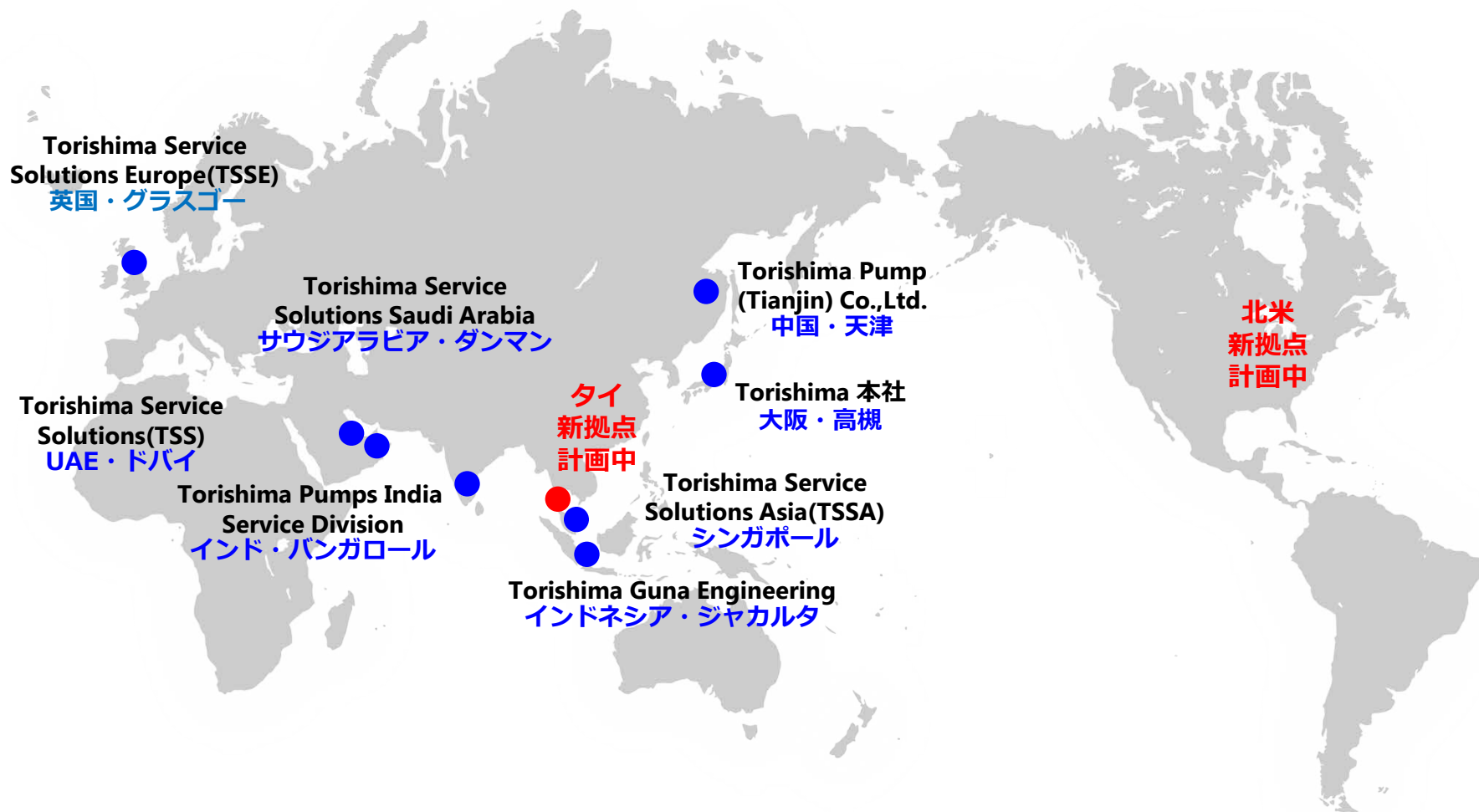
受注15件 (一部受注のもの含む)

- | | | | |
|------|---------|-----|---------|
| 北海道 | GTCC | 福島県 | IGCC |
| 宮城県 | バイオマス混焼 | 福島県 | GTCC |
| 宮城県 | 石炭火力 | 静岡県 | バイオマス混焼 |
| 福島県 | IGCC | 福岡県 | バイオマス混焼 |
| 福島県 | バイオマス混焼 | 福岡県 | バイオマス混焼 |
| 栃木県 | GTCC | 長崎県 | USC |
| 神奈川県 | GTCC | 山口県 | USC |
| 茨城県 | USC | | |

GTCC : Gas Turbine Combined Cycle (ガスタービン複合発電)
 IGCC: Integrated Coal Gasification (石炭ガス化複合発電)
 USC: Ultra Super Critical (超々臨界圧発電)

※稼働開始予定時期は、2020年以降のものも多くあり、受注活動は今後まだ当分続く見込み

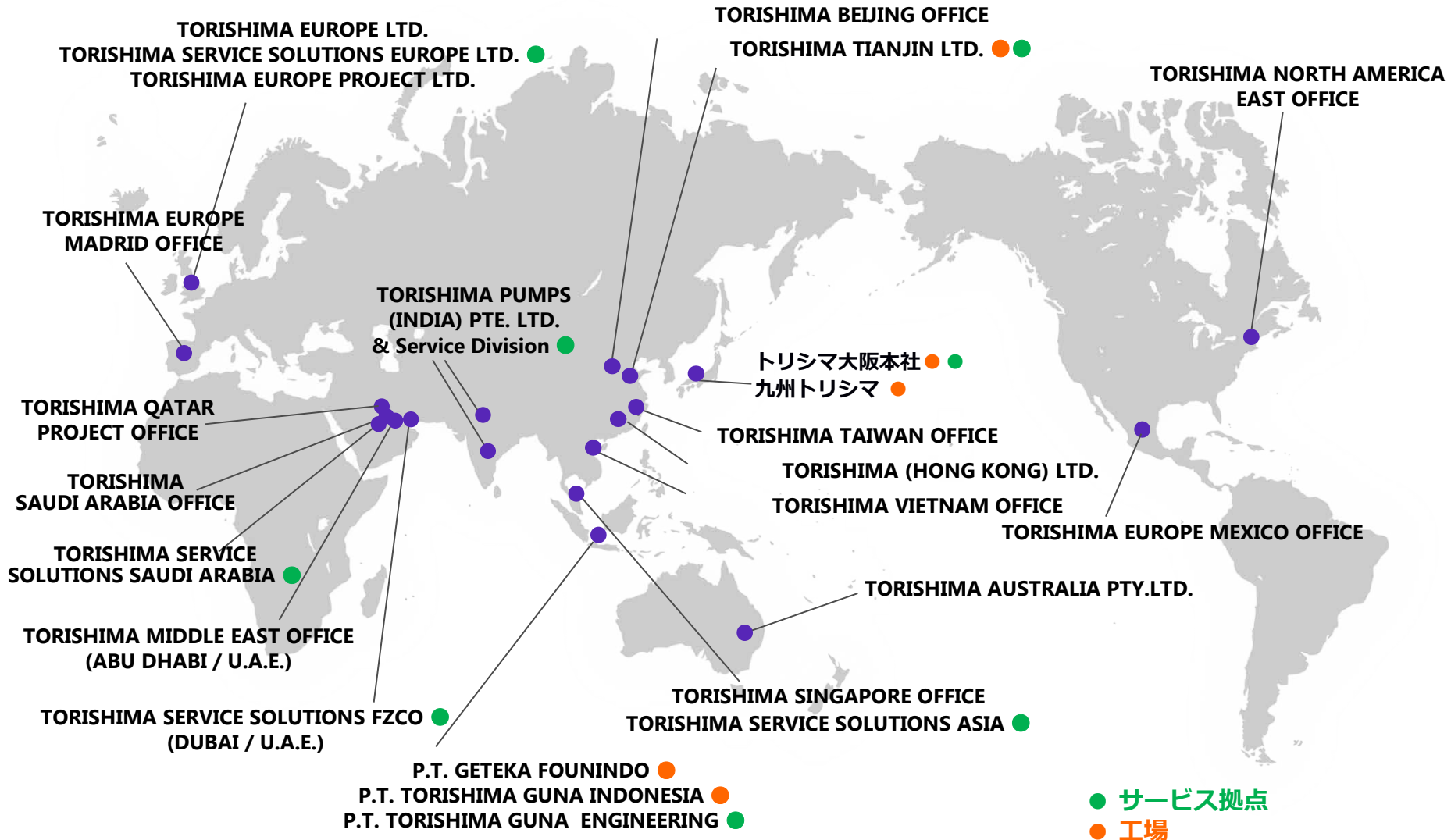
これまで数多くのポンプを収めたエリアを中心に、世界各国にサービス拠点を設置。お客様のより近くで、迅速な対応と質の高いサービスをお届けしています。



タイでのポンプ納入実績



グローバルネットワーク (2016年11月現在)



補足資料

連結営業利益 増減要因

2016年3月期
上期

2017年3月期
上期

(単位：百万円)

営業利益

▲652

売上総利益率の改善
(178億円×2.9%)

販管費
の減少

+50

▲220

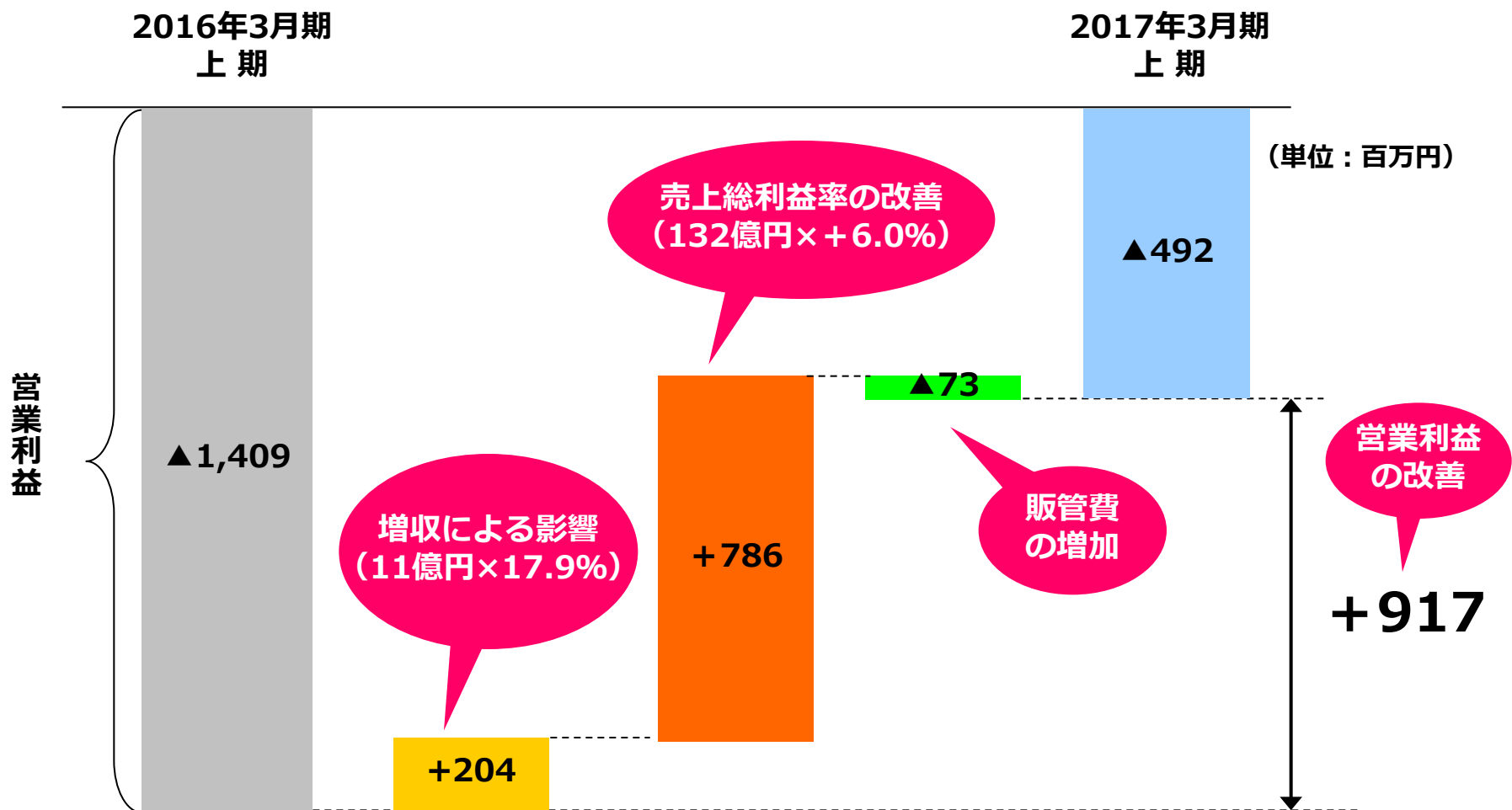
営業利益
の改善

+432

+510

▲128

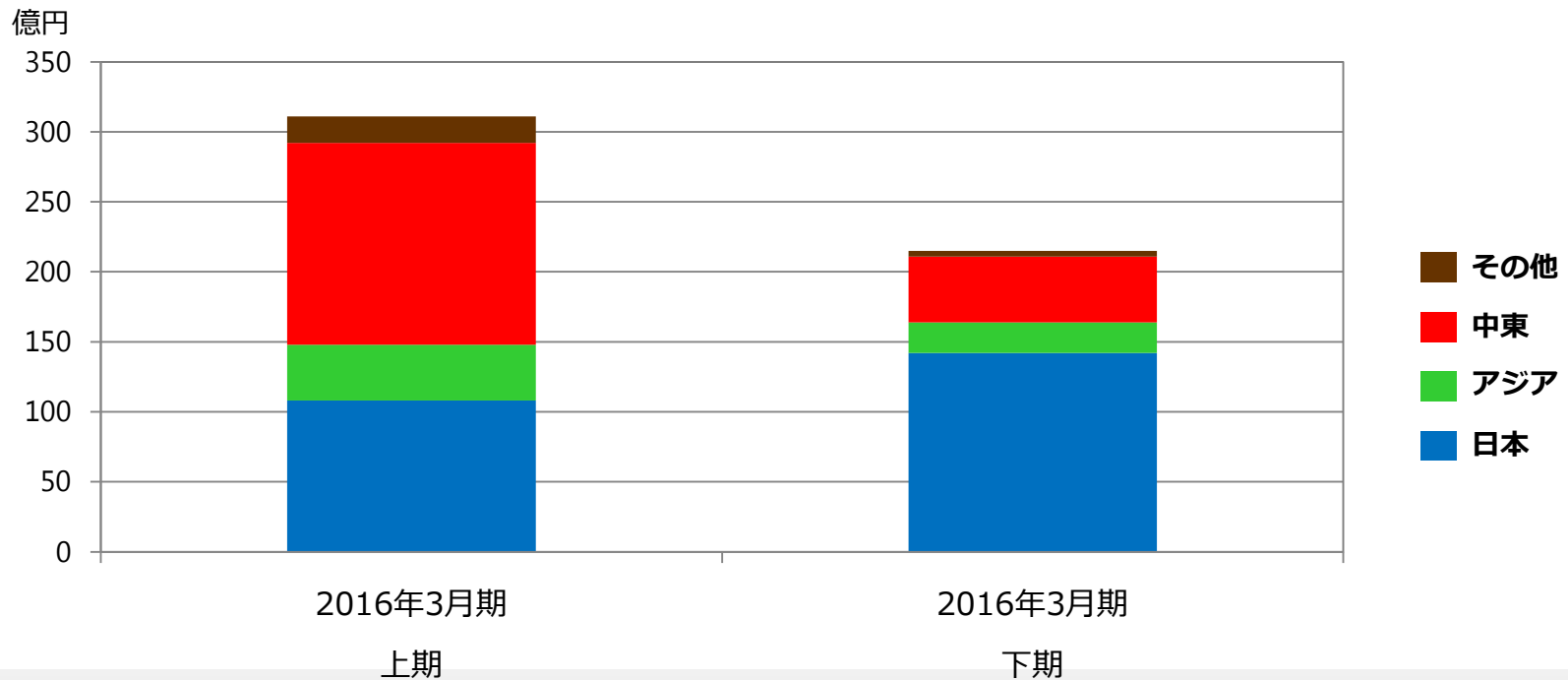
減収による影響
(▲6億円×23.1%)



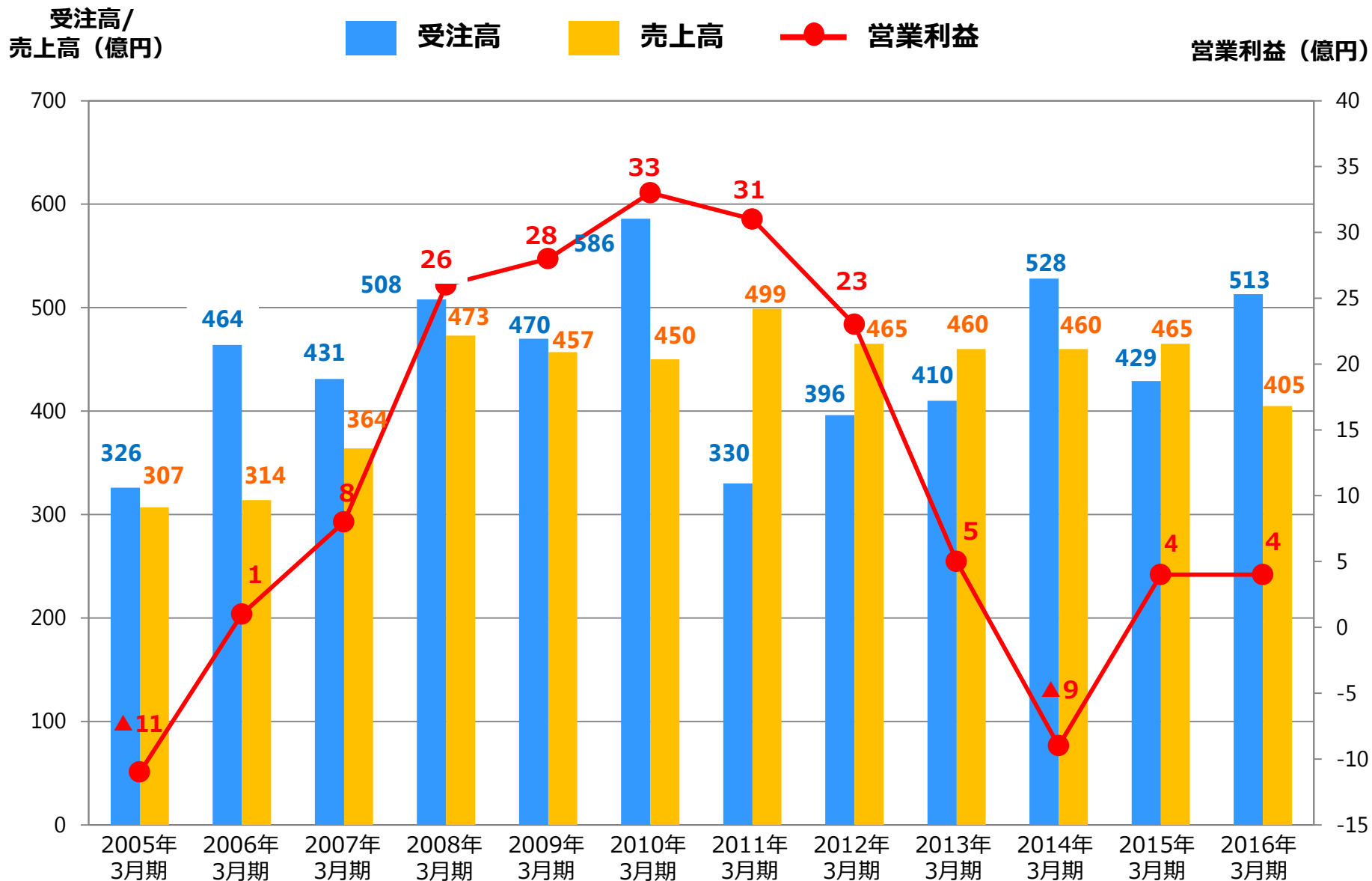
地域別 受注高

(単位：億円)

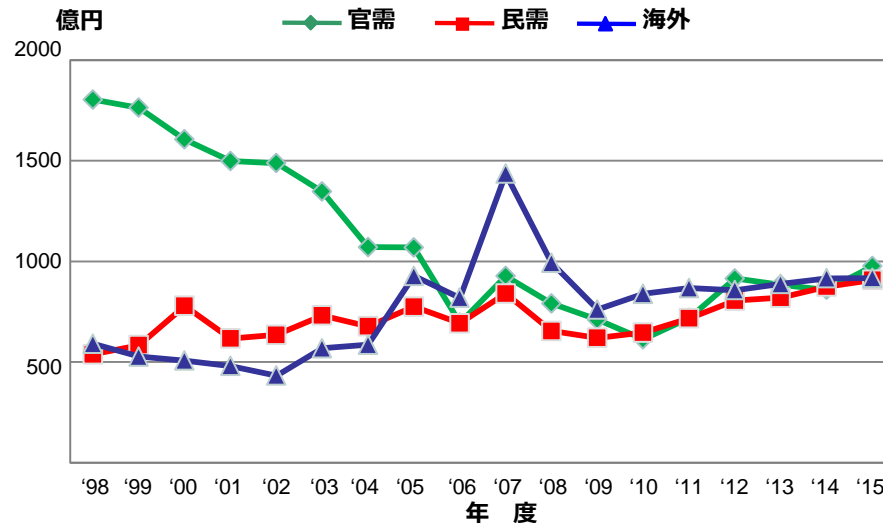
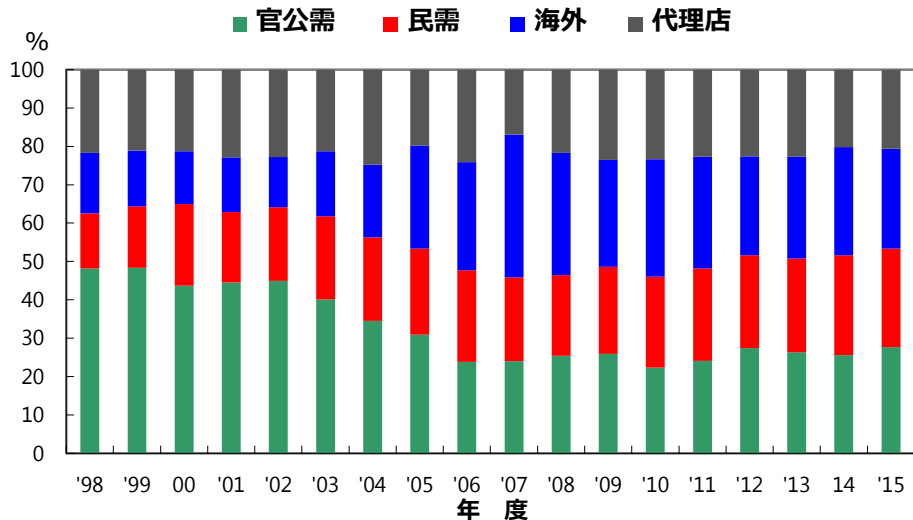
		日本	海外全体	海外の内訳			合計
				アジア	中東	その他	
受注高 ()内は 構成比	2016年3月期 上期	108 (34.5%)	203 (65.5%)	40 (12.8%)	144 (46.5%)	19 (6.2%)	311
	2017年3月期 上期	142 (66.0%)	73 (34.0%)	22 (10.3%)	47 (21.7%)	4 (2.0%)	215



受注高・売上高・営業利益推移(12年間)



日本のポンプ市場の需要部門別受注推移

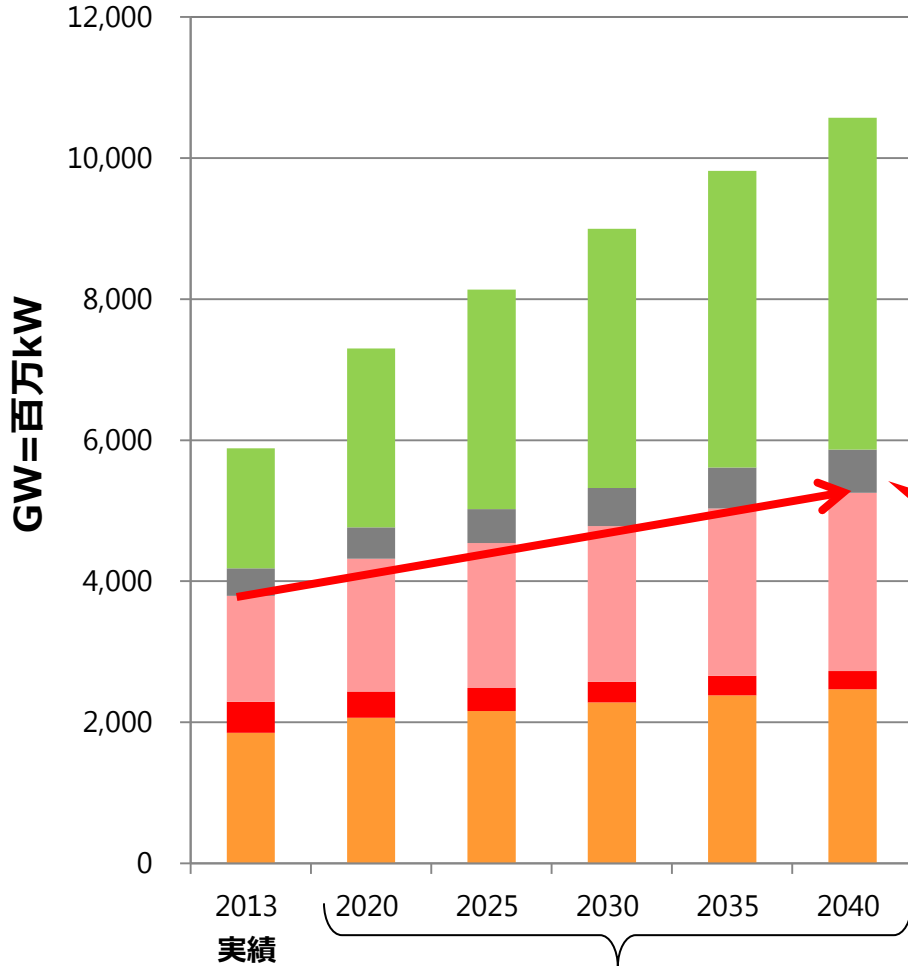


(単位: 百万円)

年度	1998	1999	2000	2001	2002	2010	2011	2012	2013	2014	2015	前年同期比	
官公需	金額	180,337	176,337	160,550	149,806	148,831	61,305	71,888	91,545	81,964	85,859	97,600	+13.7%
	構成比%	48.1	48.4	43.7	44.5	44.9	22.4	24.1	27.5	24.4	25.6	27.7	—
民需	金額	53,878	58,396	77,895	61,733	63,572	64,668	71,698	80,560	88,445	87,442	90,775	+3.8%
	構成比%	14.4	16.0	21.2	18.3	19.2	23.6	24.1	24.2	26.4	26.0	25.7	—
海外	金額	59,055	52,766	50,737	48,032	43,247	83,883	86,763	85,712	88,787	91,612	91,752	+0.2%
	構成比%	15.8	14.5	13.8	14.3	13.1	30.6	29.1	25.7	26.5	27.2	26.0	—
代理店	金額	81,143	76,961	78,116	76,978	75,608	64,080	67,712	75,455	76,231	71,510	72,518	+1.4%
	構成比%	21.7	21.1	21.3	22.9	22.8	23.4	22.7	22.6	22.7	21.2	20.6	—
合計	金額	374,413	364,460	367,298	336,549	331,258	273,936	298,061	333,281	335,427	336,423	352,645	+4.8%
	構成比%	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	—

出典: 日本産業機械工業会
 ※ 2015年度は、2015年4月～2016年2月の受注金額に12/11を掛けて作成

- 石炭
- 天然ガス
- 再生可能エネルギー
- 石油
- 原子力



発電市場は、新興国を中心に底堅い需要が見込まれる。

当社のマーケットとする火力発電（石炭・石油・天然ガス）設備は、2013年実績から2040年で、**1.4倍**に増加する見込み。

火力発電
1.4倍

※ 国際エネルギー機関（IEA:International Energy Agency）「World Energy Outlook2015」のデータをもとに作成

本資料の業績などに関する将来の予想、見通しなどは現時点で入手可能な情報に基づき算出したものです。

したがって、実際の業績は今後の様々な要因によって、異なる結果となる可能性があることをご了承ください。

【お問い合わせ先】

株式会社 西島製作所 総務部 IR広報グループ

Tel : 072-695-0551

Email : torishima-ir@torishima.co.jp